

「松風和」横書 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の横書きで「松風和」となっております。青々斎宗匠の力強い筆で流れるように書かれています。
共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥35,000(税込)

柿の画 松村呉春筆



江戸中期の画家で与謝蕪村に師事し、円山応挙とも交流のあった松村呉春筆の柿の絵になります。一門は京の四条に多く住んだことから四条派と呼ばれました。東海の識箱。
識箱 長さ約97.5cm 幅約34cm
¥25,000(税込)

「雪月花」横書 三玄院長谷川大心筆



大徳寺三玄院の長谷川大真和尚筆の横書で「雪月花」となっております。雪月花とは冬の雪、秋の月、春の花を意味した、特に四季の自然美の代表的なものとしての冬の雪、秋の月、春の花。四季の自然美の総称として用いる言葉です。
共箱 長さ約120cm 幅約49cm
¥30,000(税込)

松魚の画 竹内栖鳳筆



京都の四条派の画壇であった竹内栖鳳筆の松魚(かつお)の画になります。鯉節(かつおぶし)が松の節に似ている、という事で、古来「松魚(かつお)」とも表記されるようです。青の色の美しさが目立ちます。絹本。
共箱 長さ約134cm 幅約56.5cm
¥40,000(税込)

「澄心」柿白画讃 猗々斎筆



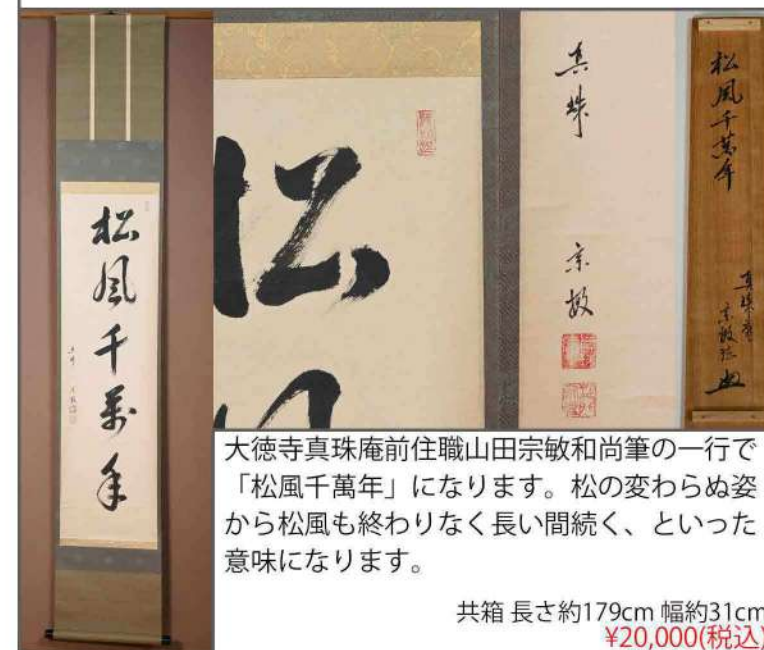
藪内流12代猗々斎宗匠筆の柿画讃で「澄心」となっております。まるまるとした柿の絵が秋の季節にぴったりの画讃です。
共箱 長さ約101cm 幅約40.5cm
¥30,000(税込)

「清秀」横書 猗々斎筆



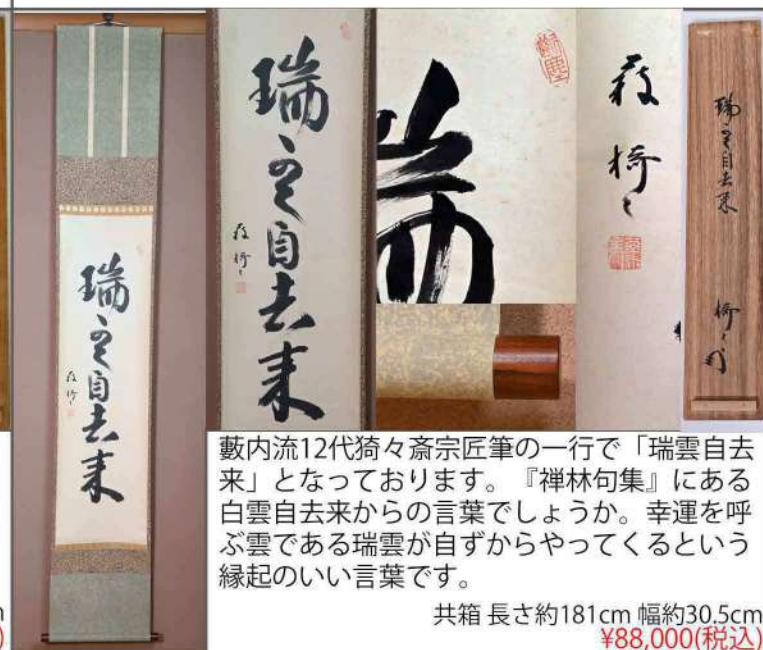
藪内流12代猗々斎宗匠筆の横書で「清秀」の二字となっております。清秀とは「清くひいでていること、美しく気品がある、秀麗である」とされます。
共箱 長さ約104cm 幅約52cm
¥50,000(税込)

「松風千萬年」一行 真珠庵山田宗敏筆



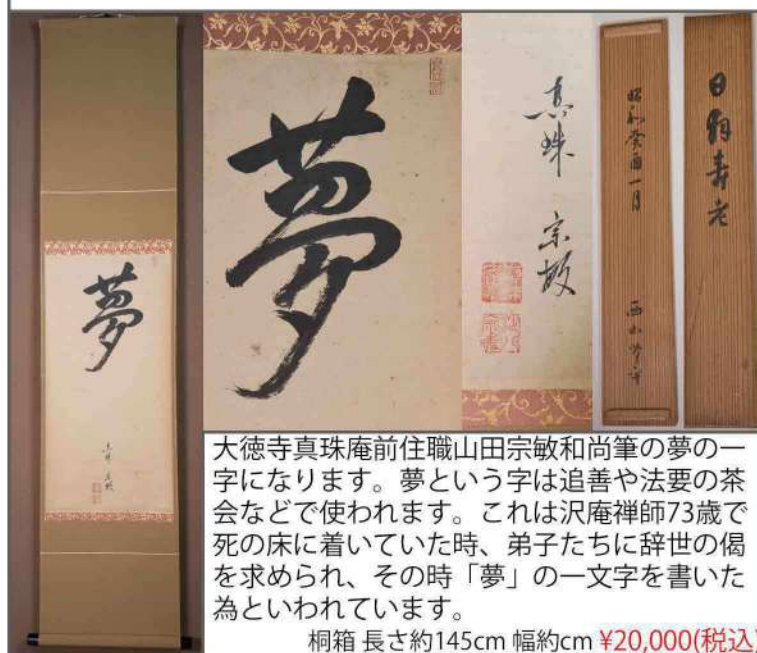
大徳寺真珠庵前住職山田宗敏和尚筆の一行で「松風千萬年」になります。松の変わらぬ姿から松風も終わりなく長い間続く、といった意味になります。
共箱 長さ約179cm 幅約31cm
¥20,000(税込)

「瑞雲自去来」一行 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の一行で「瑞雲自去来」となっております。『禅林句集』にある白雲自去来からの言葉でしょうか。幸運を呼ぶ雲である瑞雲が自ずからやってくるという縁起のいい言葉です。
共箱 長さ約181cm 幅約30.5cm
¥88,000(税込)

「夢」一字 真珠庵山田宗敏筆



大徳寺真珠庵前住職山田宗敏和尚筆の夢の一字になります。夢という字は追善や法要の茶会などで使われます。これは沢庵禅師73歳で死の床に着いていた時、弟子たちに辞世の偈を求められ、その時「夢」の一文字を書いた為といわれています。
桐箱 長さ約145cm 幅約cm ¥20,000(税込)

墨絵竹白画讃 透月斎筆



藪内流11代透月斎筆の竹画讃になります。「蒙々筆不下中通幽深定識百意陰清風操雅琴」と賛があり、たちこめる竹林の中は遙か深い幽玄を通るようなものですれば百の意を学び清風が琴を奏でる。となっております。
共箱 長さ約178cm 幅約41cm
¥100,000(税込)

月之題字 玉雲信海筆 休々斎箱



山城国(京都府)石清水八幡宮の社僧であった玉雲信海筆の月の唄になります。玉雲は松花堂昭乗に書を、小堀遠州(政一)に雅事を松永貞徳に俳諧を学びました。「月かけのあかしもするもさらしなもとつこへそこへこのおとこやま 人の進めに応じてたはふれにかくれむ」となっております
識箱 長さ約104cm 幅約52cm ¥100,000(税込)

「無事」一行 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の一行で「無事」となっております。年末に一年の無事を祝いながら書けるお軸として最適です。
共箱 長さ約149cm 幅約30cm
¥120,000(税込)

「初雁」小品軸装 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の小品軸装で「初雁」となっております。秋の訪れを感じさせることばです。

桐箱 長さ約121cm 幅約32.5cm
¥15,000(税込)

「松樹千年翠」一行 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の一行で「松樹千年翠」となっております。年月や季節に左右されず緑を保ち続ける松の様に移ろいやすい世の中で、常に変わらないものこそ万古不易の真実の象徴であるという意味をもった言葉です。

共箱 長さ約198cm 幅約32cm
¥35,000(税込)

月画讃 森寛斎筆



幕末明治に活躍した日本画家の森寛斎筆の月画讃になります。「落ちかかる月をもてなすしぐれかな」とあり大変風情ある歌がそえられています。森寛斎は藪内流10代休々斎宗匠の絵の師になります。

共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥35,000(税込)

「澄心」酸漿画讃 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の酸漿の自画讃で「澄心」となっております。赤くきれいに色づくのは、8月~9月ごろでお盆で酸漿を飾る地域が多いため夏の風物詩の印象がありますね。

共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥35,000(税込)

「多福」豆画讃 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の豆の自画讃で「多福」となっております。猗々斎宗匠は日本画家の川上拙以に絵を習っていました。

桐箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥25,000(税込)

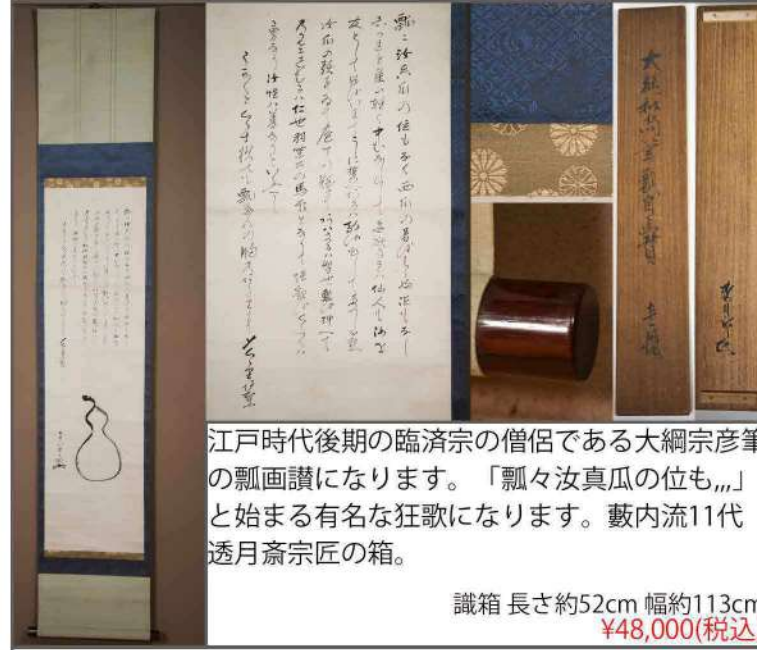
「龍」一字 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の「龍」の一字になります。辰年の男が辰年の最初の辰の日、辰の時刻に書いた辰の字は火除けになるといわれています。猗々斎宗匠は辰年でしたのでこの一字が残されています。

共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥40,000(税込)

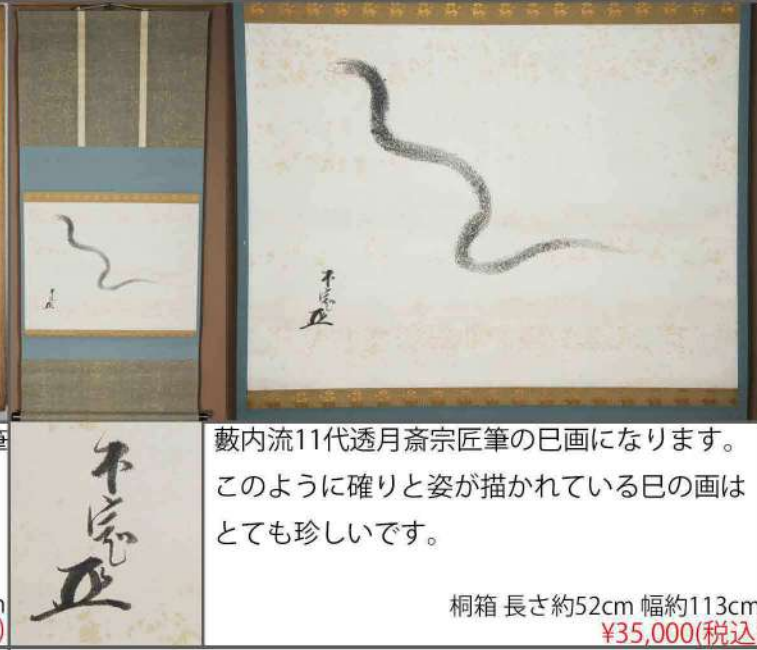
瓢白画讃 大綱宗彦筆 透月斎筆



江戸時代後期の臨済宗の僧侶である大綱宗彦筆の瓢画讃になります。「瓢々汝真瓜の位も」と始まる有名な狂歌になります。藪内流11代透月斎宗匠の箱。

識箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥48,000(税込)

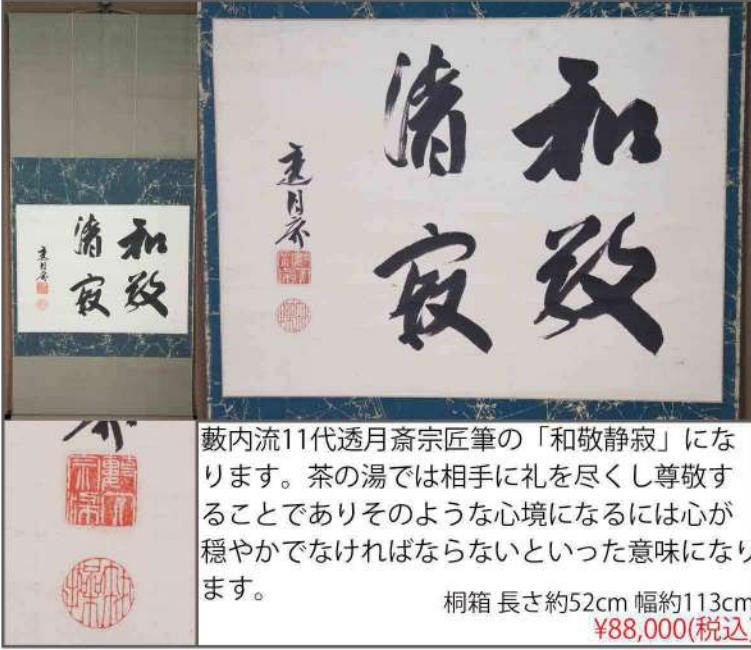
巳画 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の巳画になります。このように確りと姿が描かれている巳の画はとても珍しいです。

桐箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥35,000(税込)

「和敬静寂」横書 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の「和敬静寂」になります。茶の湯では相手に礼を尽くし尊敬することでありそのような心境になるには心が穏やかでなければならぬといった意味になります。

桐箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥88,000(税込)

「我有萬古宅」一行 比老斎筆



藪内流6代比老斎竹陰宗匠筆の「我有萬古宅」となっております。李白の漢詩の送楊山人歸嵩山の一説よりとられた故郷を思う夏の言葉です。透月斎宗匠の識箱。

識箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥200,000(税込)

竹垣画讃 土佐光貞筆



江戸時代中期から後期に活躍した土佐派の絵師であった土佐光貞筆の竹籬画讃になります。

共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥35,000(税込)

小倉山画 狩野探幽筆



江戸初期の狩野派の画家である狩野探幽筆の小倉山画になります。紅葉する小倉山とそれを眺める貴人の絵となっております。鑑定家の大倉好斎の極め箱。

共箱 長さ約52cm 幅約113cm
¥180,000(税込)

「無量寿」一行 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の一行で「無量寿」となっております。「無量」という言葉は、直訳すると「量ることができない」という意味になり「寿」という言葉は、「寿命」をさし限りない命という意味になります。

桐箱 長さ約136cm 幅約41cm
¥35,000(税込)

「無寒暑」横書 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の横書で「無寒暑」となっております。寒さや暑さがない場所のことで、寒い時は寒さに徹し、暑い時は暑さに徹することによって得ることのできる境地のことを指します。『碧巖録』にも「洞山無寒暑」の逸話があります。

共箱 長さ約120cm 幅約49cm ¥40,000(税込)

「松無古今色」一行 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の一行で「松無古今色」となっております。松は季節の変化に関わらず、常に緑の葉におおわれている。まわりに惑わされることなく、変わらざる心で生きることを示しています。

桐箱 長さ約148cm 幅約34cm
¥33,000(税込)

稲画 竹内栖鳳筆



京都の四条派の画壇であった竹内栖鳳筆の稲の画になります。色紙の大きさの本紙で待合掛けなどに最適です。

共箱 長さ約119cm 幅約32.5cm
¥40,000(税込)

「毘」一字 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の「毘」の一字になります。「毘」は喜の草書を楷書にした形であり、字を分解すると「十七」の上に「七」が付いたような文字となることから喜寿の語源であります。喜ばしいときにお掛け頂けます。

木箱 長さ約99cm 幅約32cm
¥55,000(税込)

「菊」籬画讃 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の「菊」の一字に籬（まがき）の画讃になります。力強い菊の字体に小さい籬が添えられ、秋の掛物として気軽にお掛け頂けます。

共箱 長さ約99cm 幅約32cm
¥85,000(税込)

芋画讃 藪内節庵筆



9代藪内紹智の次男で、10代の養子であった藪内節庵筆の芋画讃になります。「御目出度く存じ候 今朝の春」と讃されています。

共箱 長さ約180cm 幅約38cm
¥35,000(税込)

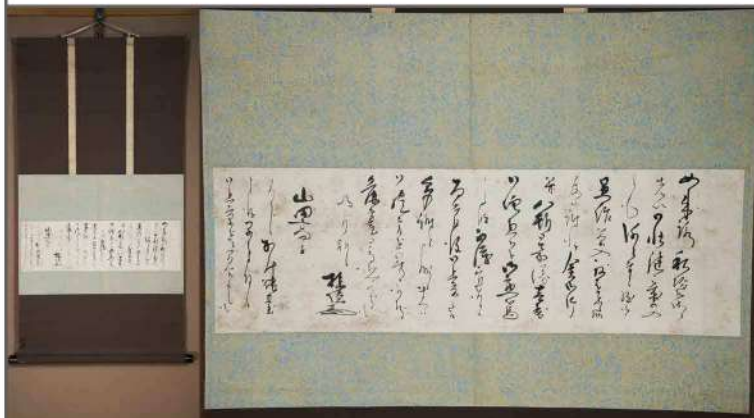
宝珠画讃 猗々斎讃



藪内流12代猗々斎宗匠筆の宝珠画讃になります。「蓬萊や伊勢ぞ熱田もなみつづき」と賛が添えられています。宝珠画は猗々斎宗匠の門下であったとされる絵師の観林の筆。

共箱 長さ約128cm 幅約38cm
¥65,000(税込)

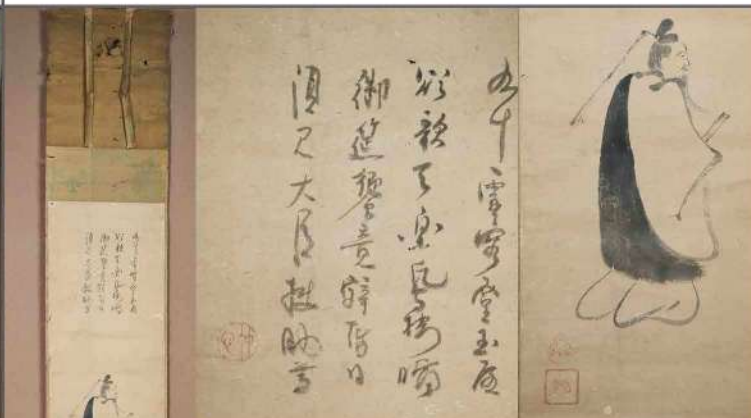
桂隠斎筆消息



藪内流7代の桂隠斎竹翁宗匠の消息（手紙）になります。八期時期の挨拶のお返事のように自作の茶入れなどについても書かれています。読み下しあり。

桐箱 長さ約96cm 幅約61cm
¥80,000(税込)

菅原道真画讃 松花堂画 不住斎讃



江戸時代初期の真言宗の僧侶であった松花堂昭乗筆の菅原道真像に藪内流5代不住斎竹心が讃をした画讃になります。「九十雲究登玉道 頌歌天楽鳳凰啼 御籤饗竟辭曆日 閏見大月扶助尊」とあります。

時代箱 長さ約155cm 幅約30cm
¥250,000(税込)

雲紙懐紙 明如上人（大谷光尊）筆



西本願寺21世門主大谷光尊（明如）上人の蓮如上人400回忌の際に書かれた懐紙になります。「たまへしけふただひのり ともし火をかかげたまひしきみそたふとき」と歌われています。

時代箱 添え状 長さ約120cm 幅約56cm
¥180,000(税込)

月竹画讃 不住斎筆



藪内流5代不住斎竹心筆の月竹画讃になります。「清風清月清影清聲 無用使人瘦無竹使人俗人瘦尚可醫属土不可醫」とあります。竹の幹の中に賛がされている遊びのあるお軸です。

共箱 長さ約186cm 幅約38cm
¥350,000(税込)



松地紋筒釜 大国藤兵衛作



大阪の釜師である大国藤兵衛作の松地紋筒釜になります。地紋の美しい釜で道安風炉に載せたり釣釜にもお使いいただけます。

共箱 直径約15cm 高さ約22cm 口径10cm
¥30,000(税込)



丸釜 和田美之助作



京都の釜師である和田美之助作の丸釜になります。柚子肌の美しいお釜です。

共箱 直径約20.5cm 高さ約20cm 口径10.5cm
¥48,000(税込)



塩屋釜 菊地政光作



奥州山形鋳物師である菊地政光作の塩屋釜になります。塩屋とは浜辺に建てられた塩を作るための小屋で、海水を煮る際に軒から煙や湯気が立ちのぼる情景が特徴です。

共箱 直径約26cm 高さ約16cm 口径9.5cm
¥65,000(税込)



唐犬釜 菊地政光作



奥州山形鋳物師である菊地政光作の唐犬(とうけん)釜になります。唐犬釜は、その鑲付の姿が犬の耳に似ているところからこの名があります。唐犬釜は、宗旦所持の天命古作のものが本歌とされている古くからある種類の釜です。

共箱 直径約25cm 高さ約17cm 口径12cm
¥65,000(税込)



四方釜 西村道也作 大西清右衛門箱



江戸初期の京都の釜師である西村道也作の四方釜になります。鋳や地肌の鉄の粗さなどが時代を感じさせます。共蓋、銅蓋があります。13代大西清右衛門浄長の極め箱。

識箱 縦横約20cm 高さ約19cm 口径9cm
¥120,000(税込)



天猫常張釜 大西清右衛門箱



江戸中期から後期にかけての天猫の常張釜になります。常張釜とは釜の鑲付きが縦についており専用の常張鑲で持ち上げることができます。14代大西清右衛門浄中の極め箱。

識箱 直径約21cm 高さ約18cm 口径13cm
¥120,000(税込)



益子焼掛け分け耳付花入 濱田庄司作



益子焼の陶工である濱田庄司作の掛け分け耳付花入れになります。民芸活動の中心となった人物の一人で、益子の土と釉薬を用いた作品が多く残っています。

共箱 直径約8cm 高さ約20cm
¥60,000(税込)



砂張鶴首花入 村田耕閑作 透月斎箱



藪内流の鋳物師であった村田耕閑作の砂張鶴首花入れで藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。砂張は銅を主体に錫を加え、銀、鉛を少量含んだ合金でつくられた金属器になります。

共箱 直径約10cm 高さ約25cm
¥88,000(税込)



伊賀耳付花入



時代の伊賀耳付花入れになります。土のどっしりした花入れでよく濡らして木槿などの夏の花をいれたり、冬には椿などの枝ものも入れることができます。

時代箱 直径約11cm 高さ約21cm
¥100,000(税込)



休々斎作竹尺八花生 銘「福浦島」

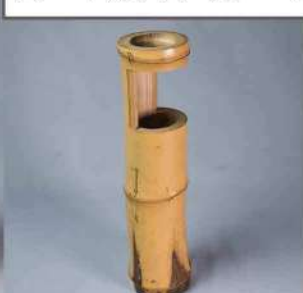


藪内流10代休々斎宗匠作の竹尺八花生で銘を「福浦島」とされています。しほ竹という真竹の中でも縦に筋の入った特殊な種類が使われています。半閑庵という門弟の庭の竹から作ったと記されています。

共箱 縦約6cm横約8cm 高さ約26cm
¥100,000(税込)



休々斎作竹一重切花入 銘「蔦紅葉」



藪内流10代休々斎宗匠作の一重切花入れで銘を「蔦紅葉」とされています。高さのある存在感のある花入れで蔦紅葉の銘が秋の茶会のお話になってくれます。根元が染み竹となっており紅葉の際の景色の移り変わりを感じます。

共箱 直径約7cm 高さ約29.5cm
¥120,000(税込)



透月斎作手付瓢炭斗



藪内流11代透月斎宗匠作の手付き瓢炭斗になります。朱で透月斎宗匠の在判があり、落としも添えてあるので広間の床の花入れとしてもお使いいただけます。

共箱 直径約36cm 高さ約26cm
¥100,000(税込)